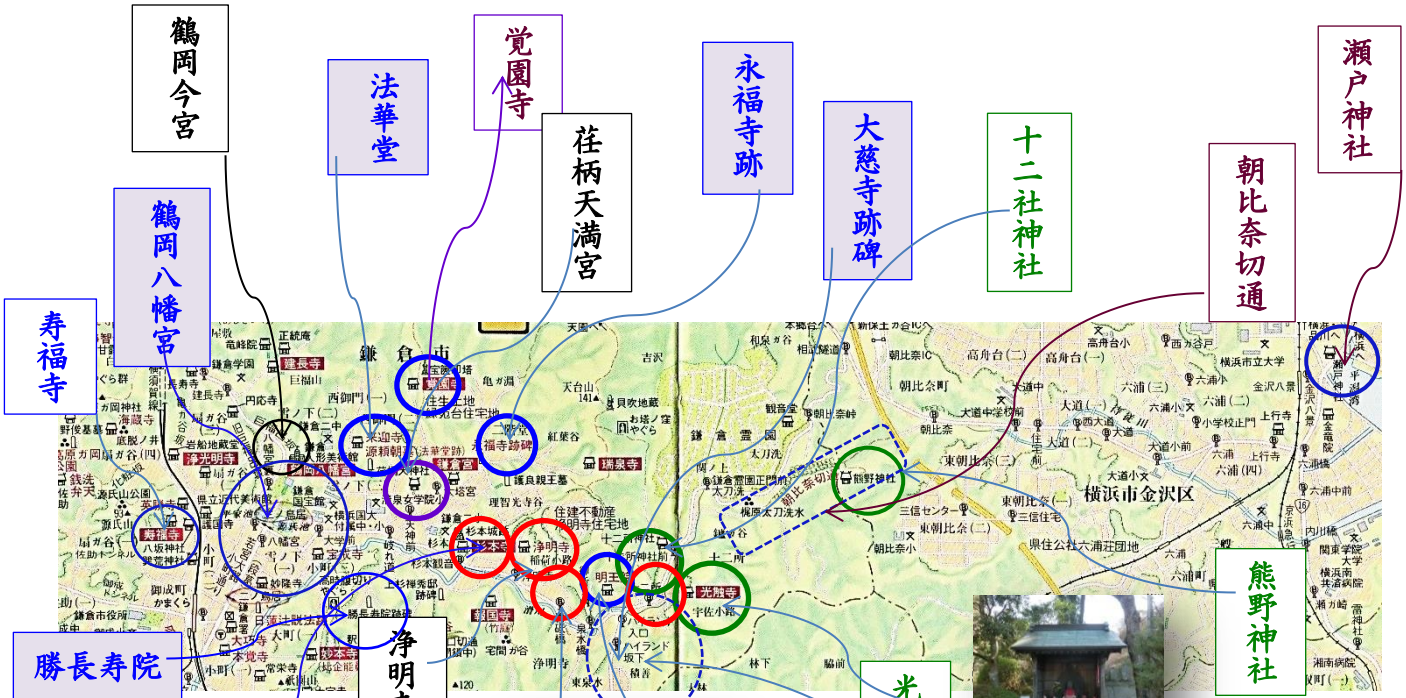
鎌倉史跡巡り、２月：十二所～大江広元邸跡～法華堂

〈要点〉滑川の源流・朝比奈切通を辿る『六浦道』沿いの寺社・遺跡に関係する時の重なり

800	征夷大将軍坂上田村麻呂、蝦夷遠征	1208	政子、熊野へ。鶴岡神宮寺に建立
1063	頼義：岩清水八幡を由比若宮へ密かに勧請	1212	実朝の大慈寺栄西開山。1293 地震で埋没
1180	頼朝、石橋山敗戦。岩屋に観音像を残置	1213	和田氏の乱：（杉本寺 734 行基、円仁中興）
1180	頼朝、凱旋後由比若宮遷座し鶴岡若宮創建	1219	公暁、実朝刺殺。（1218 義時薬師堂建立）
1182	鶴岡から由比ヶ浜まで真直ぐな道を創る	1221	承久の乱（後鳥羽・順徳・土御門天皇配流）
1185	勝長寿院創建。供養時平家滅亡（87 放生会）	1124	政子、泰時を六波羅探題から招聘。政子没。
1189	頼朝、奥州合戦出兵。法華堂建立を祈願	1225	頼経、４代将軍となる。明王院建立
1189	～1192：戦死者供養の永福寺（二階堂）建立	1247	宝治合戦：鶴岡今宮
1191	鎌倉大火。大臣山に鶴岡八幡本宮下宮建立	1257	1188 足利義兼極楽寺が前進。浄明寺に変名
1195	頼朝、奈良大仏殿の落成供養に参列	1278	光触寺、作阿創建。十二所神社≒熊野神社
1199	頼朝没。法華堂（白幡神社）に祀られる	1280	時宗、鶴岡再建。≒「天正指図」に近似？
1200	政子、頼朝意志を継ぎ寿福寺建立。栄西開山	1333	北条執権体制の鎌倉幕府が滅亡する



弁天堂脇の泉

鎌倉公方邸址碑

大江広元邸跡碑

① **六浦道**は、朝比奈切通の熊野神社から、滑川の源流に沿う都市鎌倉上域の東西の幹道。**②この方角には、鎌倉将軍創建の鶴岡八幡宮・勝長寿院・永福寺・大慈寺・明王院**、更に**法華堂（白幡神社）が立並ぶ。**

② **光触寺**には、六浦の塩売り逸話の「**塩嘗地蔵**」が移設されている。道は、杉本寺辺りで急阪となり川は麓を小さく急角度で流れる。**旅人は杉の大木を目標に坂を登り弁天堂に湧く泉**で喉を潤し参拝しただろうか。